令和７年第４回広野町議会臨時会会議録目次

第１日　　７月９日（水曜日）

○議事日程 …… 1
○出席議員 …… 1
○欠席議員 …… 1
○地方自治法第１２１条の規定により説明のため会議に出席した者の職氏名 …… 1
○本会議に出席した事務局職員 …… 2
○開会の宣告 …… 3
○会議録署名議員の指名 …… 3
○会期の決定 …… 3
○議案第４０号　財産の取得について …… 3
○閉会の宣告 …… １０
○署名 …… １１

第 4 回 臨 時 町 議 会

(第　1　号)

令和７年第４回広野町議会臨時会会議録（第１日）

令和７年７月９日（水曜日）午前９時開会

日程第　１　会議録署名議員の指名

日程第　２　会期の決定

日程第　３　議案第４０号　財産の取得について

○出席議員（８名）

１番	西本久雄　君	２番	渡邉忠義　君
３番	高木光雄　君	４番	渡邉正俊　君
５番	西内玄太　君	６番	北郷伯弘　君
７番	遠藤浩　君	８番	門馬まりえ　君

○欠席議員（なし）

○地方自治法第１２１条の規定により説明のため会議に出席した者の職氏名

町長	遠藤智	君
副町長	杉浦孝幸	君
教育長	根本良政	君
総務課長補佐	鯨岡晋悟	君
参事兼 復興企画課長	加賀博行	君
産業振興課長	黒田泰将	君
建設課長	松本周次	君
参事兼 環境防災課長	佐藤尚文	君
健康福祉課長	金子一隆	君
こども家庭課長	北郷功	君
参事兼 町民税務課長	猪狩裕一	君
会計管理者兼 出納室長	横山正文	君
参事兼教育次長 兼学校教育課長	遠藤義宏	君

生涯学習課長兼 公民館長	鯨岡	圭介君
代表監査委員	針生	寛美君

○本会議に出席した事務局職員

参事兼 議会事務局長	林	聡宏君
議会事務局書記	黒田	峻介君

○開会の宣告

○議長（渡邉正俊君）　改めまして、皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は８名全員であります。

定足数に達しておりますので、これより令和７年第４回広野町議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

（午前　９時００分）

○会議録署名議員の指名

○議長（渡邉正俊君）　日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、広野町議会会議規則第127条の規定により、

１番　西　本　久　雄　君

２番　渡　邉　忠　義　君

を指名いたします。

○会期の決定

○議長（渡邉正俊君）　日程第２、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。今期臨時会の会期は本日１日といたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（渡邉正俊君）　異議なしと認めます。

よって、今期臨時会の会期は本日１日と決しました。

今期臨時会の議事日程はお手元に配付のとおりでありますが、事務局長をして報告いたさせます。

（報告する。）

○議案第４０号　財産の取得について

○議長（渡邉正俊君）　日程第３、議案第40号　財産の取得についてを議題といたします。

事務局長をして議案の朗読をいたさせます。

（朗読する。）

○議長（渡邉正俊君）　本案について提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（遠藤　智君）　皆さん、おはようございます。本日第４回広野町議会臨時会を招集申し上げましたところ、議員の皆様にはご多用の中ご出席を賜り、御礼申し上げます。

まず初めに、このたびの６月21日からの鹿児島県トカラ列島近海における度重なる地震に関しまして、避難された方々にお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早く地震活動が収まり、一日も早く日常生活が回復されることを心より祈念いたします。

さて、本日の議案は、急施を要する案件についてご審議をいただきます。よろしくお願いいたします。

議案第40号の提案理由を申し上げます。本案につきましては、広野町学校給食共同調理場新築に伴う厨房用備品等の財産を取得したいので、これに伴う契約を有限会社坪井商会と締結し、当該財産を取得いたすための提案であります。

詳細な内容につきましては、学校教育課長より説明いたさせますので、よろしくご審議くださるようお願いいたします。

○議長（渡邉正俊君）　学校教育課長。

（参事兼教育次長兼学校教育課長、内容説明を行う。）

○議長（渡邉正俊君）　説明が終わりました。

質疑に入る前に、皆さんに申し上げます。会場暑いようでありましたらば、上着を脱いでもらっても結構です。各自体調管理に気をつけてください。

それでは、これより質疑に入ります。

２番、渡邉忠義君。

○２番（渡邉忠義君）　ただいまご説明いただきました。そこで、事業目的の５段目に環境負荷低減も追求するというふうになっているわけでありますが、今回のこの調理器具を見ますと、大体電気関係の器具がほとんど多いというようなことで、これまであったガスは、今後は使用するというふうなことがないのか、それがここの言っている環境負荷低減に追求していくのだということでの電化製品だったのか、ちょっとこの辺のところをお伺いしたいところであります。

○議長（渡邉正俊君）　学校教育課長。

○参事兼教育次長兼学校教育課長（遠藤義宏君）　２番、渡邉忠義議員のただいまのご質問にお答えします。

ただいま新しい給食センターのほうでは、ガス、今現在使われているようなガス器具ではなくて電気の、電気器具を使用するのかというご質問なわけですが、新しい給食センターは全てオール電化ということで、今現在使っているガス器具等は使わずに、全て電気で調理をするような形になっておりまして、そういった意味で今回の環境負荷低減の追求ということを載せております。あと、この電化製品につきましても新しい電化製品ということで、省エネ効率等も以前のものと比べて高くなっておりますので、そういったことで環境整備をしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（渡邉正俊君）　２番、渡邉忠義君。

○**２番（渡邉忠義君）**　そうしますと、これまでの歴史を見ると、電気及びガスというふうなところについては、いろいろ自然災害等があった際に電気が使えない、そのときはガスを使うというふうなことの展開の中にもあって、両方使われていたのかなというふうな気はするのですが、そうすると今回は、蓄電池を入れるというふうな時代になりましたので、その蓄電池を入れれば、今後電気がストップしても混乱するようなことはないのだということなのでしょうか。

それと併せて、ガスはもう全く使わないということなのでしょうか。この２つお伺いします。

○**議長（渡邉正俊君）**　学校教育課長。

○**参事兼教育次長兼学校教育課長（遠藤義宏君）**　ただいまの質問にお答えします。

まず、停電時に蓄電池を使って電化製品を稼働させるのかというご質問につきましては、議員おただしのとおり、蓄電池等で対応していきたいと考えております。

それから、ガス器具につきましては、今後は使用しないということで考えております。全てオール電化で対応していく予定となっております。

以上です。

○**議長（渡邉正俊君）**　２番、渡邉忠義君。

○**２番（渡邉忠義君）**　私としては、これは私の勘違いなのか、ちょっとあれなのですが、オール電化ということだったので、応札した有限会社イシイさんはガス会社、会社というか、ガスを営業しているところみたいなのですが、結局ガスもあっての部分でここの入札に参加したのかなというふうに私は思ったものですから、そうすると今度、今後はガスを絶対に入れないのだよというお話でいくと、オール電化も分かるのですが、やっぱり地元にもまだ各家庭もガスを使っている家庭もかなり多いのは多いですよね。その中で、もうガスは要らないのだという側のほうの行政の考え方でいいのか、企業を育成していくのであれば、ガスだって少しは使ってあげるということも、行政としての姿勢もやっぱりあるべきだったのではなかろうかなというふうに私は思っているのですが、その辺はどうなのでしょうか。

○**議長（渡邉正俊君）**　学校教育課長。

○**参事兼教育次長兼学校教育課長（遠藤義宏君）**　ただいまの質問にお答えします。

今回、地元事業者の育成のためにガスも継続して使用すべきではないかという議員のおただしではあります。議員のおっしゃりたいことは、十分私も認識はしているところではございますが、今回給食センターの整備に当たりまして、まずはそういう環境負荷の低減ということでオール電化を導入するというのもありますが、あとは一番、あともう一つは、実際にその給食を作る給食調理員さんたちの負担の軽減です。今現在、とてもガスを、要は火を使って、とても暑い中で給食調理をされております。それで、調理員さんたちもどんどん年齢層が高くなってきておりまして、体への負担等も考慮してあげなければいけない部分が多々ございます。そういった中で、オール電化にすることによって、調理室の環境、中を、当然クーラー等は使うのですが、今までよりも熱が籠もら

ないような形になりまして、あと調理員さんのいろいろな使い勝手、清掃のしやすさ等いろいろ加味しますと、オール電化にしたほうが、そちらのほうがいいということで今回導入しておりますので、そういった部分ではガスを使わなくなってしまって、地元事業者のほうで困るのではないかということは十分承知をしておりますが、いろいろな課題を解決するための方策としてオール電化が望ましいということで今回の導入に至っておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

以上です。

○議長（渡邉正俊君）　３番、高木光雄君。

○３番（高木光雄君）　何点か質問します。

１点目は、今回この購入するリストはあるのですけれども、全部で256台、10台が既設品を持ち込むって書いてあるのですけれども、これらの品物は全て特注品はなくて、一般的に販売しているものというふうに理解していいのか。

それと、もし特注品だとすれば、かなり形状の大きいものもかなりありますよね。もし特注品だとすれば、今この納期が12月の26日になっているのですけれども、それはそれまでに入りますよという、この今坪井商会ですか、そういったところとは打合せをしているのか。この２点お伺いします。

○議長（渡邉正俊君）　学校教育課長。

○参事兼教育次長兼学校教育課長（遠藤義宏君）　３番、高木光雄議員のただいまのご質問にお答えします。

まず、今回納品される備品、そちらのほうのこれが全て既製のものか、特注品もあるのかということですが、もちろんほとんどが既製品ということにはなりますが、あとは今回の給食センターの建物に合わせた形で、例えば食器、食缶の自動洗浄機、使った食器や食缶等を入り口から入れると、最終的には中で洗って、乾燥して出てくるというような、そういったものは建物に合わせてちょっと調整するようなものもございます。

あと、今回の入札に当たりましては、それらの備品を納期限までにきちんと納めるということを条件に入札もしておりまして、応札をした事業者さんは当然それができるということで応札をしているものと認識をしておりますし、今現在、今回落札をしました事業者さんとは担当者のほうで細かく納品に向けて打合せのほうはしております。よろしくお願いいたします。

○議長（渡邉正俊君）　３番、高木光雄君。

○３番（高木光雄君）　今分かりました。坪井商会は、この備品に関しては、購入して設置するまでがこの入札の条件というか、そういうふうになっているのかと、この坪井商会は隣のまちにあるのですけれども、これいろいろこのまちでも学校関係でいろんなものを納入していると思いますけれども、今回１億円以上のものですよね。こういった大型な、こういう取引みたいなのは実績あるのでしょうか、この会社としては。

○議長（渡邉正俊君）　学校教育課長。

○参事兼教育次長兼学校教育課長（遠藤義宏君）　ただいまのご質問にお答えします。

ただいま坪井商会のご質問がありましたが、まずその坪井商会は、厨房機器の製造販売メーカーの代理店ということになって、代理店契約を結んでおりまして、それに基づいて今回厨房用備品のほうも納められるということで、指名をして、落札もしているわけですが、議員おただしのとおり、今回備品の設置までが今回の備品購入契約の中身となっております。

あと、坪井商会で高額の契約等もしているのかというおただしですが、坪井商会は浜通り地区で、先ほども申し上げましたが、厨房機器の代理店としておりまして、この相双地区でもいろいろなところに厨房用備品等も納品している実績があると聞いております。

以上です。

○議長（渡邉正俊君）　３番、高木光雄君。

○３番（高木光雄君）　すみません。分かりました。

あと、すみません、これ、もし差し支えなければでいいのですけれども、今回入札額が１億1,063万円なのですけれども、この入札率、落札率というのは幾らなのか、ちょっとお伺いしたいのですけれども。

○議長（渡邉正俊君）　学校教育課長。

○参事兼教育次長兼学校教育課長（遠藤義宏君）　ただいまのご質問にお答えします。

今回の坪井商会の落札率につきましては、99.88％となっております。

○議長（渡邉正俊君）　７番、遠藤浩君。

○７番（遠藤　浩君）　１点だけお聞きします。

現状、物価高進んでおりますけれども、入札されているのは１億円超える価格となるわけですけれども、納期完了まで５か月という期間ございます。この間、物が上がって、再度購入物に対して金額が上がるのか、あるいは今回の入札でしっかりその辺は入っているのか、その辺だけちょっと確認させていただきたいと思います。

○議長（渡邉正俊君）　学校教育課長。

○参事兼教育次長兼学校教育課長（遠藤義宏君）　７番、遠藤浩議員のご質問にお答えします。

ただいま今回の購入する備品が今後納期限までの間に価格が上がった場合にきちんと納品されるのかというおただしかと思いますが、これにつきましては、納期限までに納めていただくということを条件に今回契約をしたいと考えておりますので、納期限までに、よほどのことがない限り、価格が上昇するということはないと考えております。よろしくお願いします。

○議長（渡邉正俊君）　５番、西内玄太君。

○５番（西内玄太君）　１点だけお伺いします。

先ほどオール電化というところで、ほかの方質疑もあったところなのですが、メンテナンス性と

かの部分で便利というところはそのとおりだと思うのですけれども、例の今進めているスマートグリッド計画の太陽光発電のあちらの電力とかをこの給食センターで流用して、停電時とかの調理機能の継続みたいなところは可能なのかどうかだけ確認させていただきたいのですが。

○議長（渡邉正俊君）　学校教育課長。

○参事兼教育次長兼学校教育課長（遠藤義宏君）　５番、西内玄太議員のただいまのご質問にお答えします。

今町が進めている太陽光パネル等の設置に基づく電源等を今後使う予定はあるのかというようなご質問ですが、これにつきましては、今のところまだ具体的にはなっていない状況ではありますが、今回給食センターのオール電化を導入するに当たりまして、少しでも消費電力を抑えるということで、デマンド監視装置というものを給食センターのほうに取り付けることを予定をしております。これにつきましては、給食センターの電気料を少しでも安くすることを目的に、最大需要電力、そちらのほうを上限を設定しまして、それを超えるような電気の使用が上限に近くなった場合には警報を発して、空調機の設定温度変更や運転停止とか、あとは業務用のエコキュートの制御など、様々に行いまして、使用電力量を抑えて、電気料も抑えるというような形になっておりますが、そういったものを活用しながら、あとは停電時にも継続して使えるように、先ほど蓄電池の話もさせていただきましたが、町の太陽光発電のほうも、そちらのほうも含めて、適切に稼働するように今後努めていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

○議長（渡邉正俊君）　復興企画課長。

○参事兼復興企画課長（加賀博行君）　５番、西内議員のただいまのご質問にお答えします。

おただしの件は、昨年度から取りかかっております広野町のマイクログリッド構想において、給食センターには今年度太陽光のパネル等を設置します。その電気が給食センターで使えるかというようなおただしかと思います。それは、設計上に入ってございますので、使えると。また、どこかで喪失した場合には、自営線2,200メートルで結んでおりますので、密集したこの公共施設内で融通し合うということで今計画をしているものでございます。

以上です。

○議長（渡邉正俊君）　６番、北郷伯弘君。

○６番（北郷伯弘君）　質問というよりも、今回その備品ですか、備付けの品を整備するため、そろえるためにこれをするわけなのでしょうけれども、今後、これを例えば買って、購入して、そして購入した後、作業する人、あとはいろんな管理する上で、それの意識を共有するためにも、簡単なことではありますが、年月日とかの簡単なもので、誰かが入っていって見たときに、ああ、これは何年何月、2025年、2026年何月に購入したのだなと、シールのようなものをぱあんと貼り付けるような、そういった準備する考えはあるのか、そこのところを簡単にご説明いただきたいと思います。

○議長（渡邉正俊君）　学校教育課長。

○参事兼教育次長兼学校教育課長（遠藤義宏君）　６番、北郷伯弘議員のただいまのご質問にお答えします。

今回購入します備品等に購入年月日等も記したシール等を貼り付けて、後で見たときにいつ購入したものか分かるようにしていくのかというようなおただしではございますが、今回購入する備品につきましては、備品ということで、備品を購入した際には、町では備品台帳というものを整備をいたしまして、当然その購入した備品にはそういう購入年月日等を記載したシール等を貼り付けて、管理をしていきます。ただ、今回購入する中で、例えば食缶とか籠のようなもの、食器洗浄機等で洗うようなもの、シールを貼ってもぬれたり洗ったりすることによって剥がれてしまうようなものまではシールを貼りませんが、基本そういったものを除いてはシール等を貼り付けて、きちんと適切に管理をしていきたいと考えております。よろしくお願いします。

○議長（渡邉正俊君）　６番、北郷伯弘君。

○６番（北郷伯弘君）　私がこんな細かいことを言うのは、随分やかましいやろうだななんて思われるかもしれませんけれども、それは考えようで、いかようにも考えられるのですが、それと併せて例えばの話、いわゆる計量器などありますわな。台ばかりとか、そういったもの、昔でいうと、米の袋30キロを量るときにそういったはかりも使いますよということで、そういったものもちょっとしたアイデアみたいなものを、工夫したようなシールもおまけにつけるようなことで、例えばの話、一例を挙げれば、計量器であれば、計量は全ての基本であるとか、そういったようなちょっとしたあれがあってもおかしくないと思うのです。これは計量器だから、量るのは当たり前だ、そんなの当たり前のことで、品物は出来上がっているのだけれども、そういったちょっとした細かいところに気を配って、そういった備品を大切にしていくという方向に向かっていけば、そういった意識をみんなで共有しながらいけば、たかが備品といえども大事に使って、長もちさせていくことができるというふうに感じるものですから、私の意見として言わさせていただきました。

以上です。

○議長（渡邉正俊君）　学校教育課長。

○参事兼教育次長兼学校教育課長（遠藤義宏君）　ただいまのご質問にお答えします。

議員おっしゃるとおり、新たに購入する備品、これまでの備品も含めてそうですが、大切な町の財産でございますので、そちらのほうは適切に取り扱うように、その台ばかり等も含めて、今後給食センターが整備されて、備品等も納品になりました後、新しい給食センターでの給食の提供に向けて調理員等の研修も行ってまいりますので、そういった中で備品等については大切に扱うようにということで、そちらのほうは今後指導を徹底していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（渡邉正俊君）　そのほか質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（渡邉正俊君）　質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（渡邉正俊君）　討論なしと認めます。

議案第40号　財産の取得についてを採決いたします。

本案を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（渡邉正俊君）　異議なしと認めます。

よって、議案第40号は原案のとおり可決されました。

○閉会の宣告

○議長（渡邉正俊君）　以上で本臨時会に付議された案件は全て終了いたしました。

閉会に先立ち、町長より挨拶があります。

町長。

○町長（遠藤　智君）　ただいま広野町学校給食共同調理場厨房備品のご議決を賜りまして、ありがとうございました。広野町学校給食共同調理場建設工事と伴いまして、目的に従って、計画に基づいて完成並びに納入の、この完成形に向けて適切に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

○議長（渡邉正俊君）　これで令和７年第４回広野町議会臨時会を閉会いたします。

お疲れさまでした。ご苦労さまでした。

（午前　９時３４分）

以上会議の経過を記載し、その内容に相違ないことを認め、ここに署名する。

議会議長　　渡邉　正俊

署名議員　　西本　久雄

署名議員　　渡邉　忠義